

iNPH Now

idiopathic
Normal
Pressure
Hydrocephalus

「レポート」 2011 HYDROCEPHALUS 世界の水頭症研究 Up To Date



2011年9月4～7日 コペンハーゲンにて 第一線のiNPH研究者が各国から集結

Congress President Bertil Romner, M.D., Ph.D. (Professor of Neurosurgery, Copenhagen University and Rigshospitalet)

9月4～7日、デンマーク・コペンハーゲンのRigshospitaletにて、The International Society for Hydrocephalus and Cerebrospinal Fluid Disorders (ISHCSF)の年次大会として3回目となる、Hydrocephalus 2011が開催された。会期4日間にわたっての世界各国からの参加者総数は計325名に上り、成人・小児の水頭症における臨床・研究の最新知見について、130演題を越す発表が行われるとともに活発な議論が交わされた。来年、Hydrocephalus 2012の開催国となる日本からは、計18名の先生方が参加した。

今号では、現在国内で進行中の大規模臨床研究「Japan Shunt Registry of iNPH」の中間解析結果について発表を行った、公立能登総合病院脳神経外科部長の橋本正明先生に、参加報告手記をご寄稿いただいた。そのほか、注目を集めた海外の著名研究者による3演題を紹介する。

never stop moving®

Codman
a Johnson & Johnson company